



● 異文化の相互理解を目指して —— 高知県四万十市企画広報課

はじめに

四万十市では、合併前の旧中村市の頃（1995年）より、中国から国際交流員（CIR）を招致しており、現在のCIRである蔣 潔程（しょう けつてい）さんで20人目となります。CIRは、地域住民などに向けた異文化理解の促進のための活動のほか、SNSなどを活用して海外に四万十市の魅力を発信する活動も行っており、本市の国際交流活動において、大切な役割を担っています。

国際交流員（CIR）の活動

① 中国文化交流講座

本市では、長年中国語講座（初級・中級）を開講しており、CIRは初級講座の講師を担当していました。2021年度からは、初級講座を「中国文化交流講座」に改め、引き続きCIRが講師となり、中国の歴史や文化などに関する話と簡単な中国語を学ぶ場として開講しており、より中国を身近に感じていただいています。

中国の文化や最近話題になっていること、CIRの体験談などを写真や動画も使用して紹介しており、受講者からも好評です。

また、長年中国語講座を開講してきたことで、毎年講座に参加してくれる方もいるなど、中国に興味を持っていただただけでなく、CIRとの交流も楽しみにしてくれています。



中国文化交流講座

② 広報誌にコラムを掲載

本市の広報誌「広報しまんと」に、3か月に一度、CIRがコラムを執筆しています。

コラムの内容は、季節に合わせた中国文化の話やCIRの思い出話、四万十市にきて感じたことなどさまざまで、CIRに自由に提案していただいています。

日本にはない行事や、同じ行事でも日本と中国で異なっているところを知ることができ、読者からも「素敵な文章でした」と温かい感想をいただいたこともあります。

国際交流員コラム

春の記憶

四万十市では春も2回目を迎えました。四万十市では、春は花と一緒に訪れます。初めに入田の菜の花が咲き、黄色の菜の花と緑色のヤナギを眺め、暖かい日差しの中でコーヒーを飲むのは最高です。次は桜です。静かな公園でライトアップされた桜が神秘的です。静かな夜にはカエルの鳴き声が聞こえ、星がキラキラ輝き、夜更も眠められます。

桜の時期から少しづつ、香山寺と中村駅前の藤も咲き始めます。菜の花の甘い香りに誘われる舞々も、藤の花を大歓迎です。甘い香りに誘われる舞々も、藤の花を大歓迎です。甘い香りに誘われる舞々も、藤の花を大歓迎です。

と清らかなお祭りや、風も優しくなります。子どもたちは運動場や公園で風船遊びを始め、誰が一番長く風を飛ばせるかを競います。私がお話している時、父が助けてくれた風を高く遠くまで飛ばした後に、糸を私に渡してくれました。父が

今年の3月に牧野植物園で撮影

四万十市国際交流員 蔣 潔程

(上) 風上げの絵 (左) 古代の墓参りの絵

国際交流員は、市内の学校や保育所、各種団体に
出向き、中国文化について講演や交流活動を行っ
ています。興味がある方はぜひご連絡ください。

問 雨企画広報課 広報統計係
☎(84) 1810 ✉kouhou@city.shimanto.lg.jp

広報しまんとに掲載している「国際交流員コラム」

③ Weibo（ウェイボー）への投稿

前々任のCIRが、中国への情報発信ツールとして始めた中国のSNSであるWeiboへの投稿を、CIRが中心となって行っています。

投稿内容はCIRにおまかせしており、市内で行われるイベントの紹介や中国文化交流講座の内容、四万十市の風景、商店街の店舗の紹介、CIR本人が興味を持ったことなども投稿しています。フォロワーからもたくさんの

反応があり、四万十市に興味を持ってもらうきっかけになっています。



Weibo（安並水車の里で撮影した写真を紹介したところ、同じ場所で撮影した方が、コメントに写真をアップしてくれました）

④外部団体などへの派遣

派遣の内容はさまざま、地区の集まりでは中国での生活や文化などについての話をし、中国を知ってもらうきっかけとなっています。中国の高齢化や地域振興の取り組みに関する話には、多くの質問をいただき、自分たちの身近にある課題や取り組みに対する日本と中国の違いや同じ点について、興味を持っていただけたようでした。

また、ゴールデンウィークや花火大会などの観光業務が忙しくなる時には、観光協会窓口で通訳を行うなど、業務支援を行っています。そのほかにも、パンフレットなどの翻訳や海外に発信するオンライン観光番組に出演するなど、四万十市の魅力を海外にPRする活動を支援しています。



図書館主催の異文化理解講座に参加



観光協会のスタッフと一緒にオンラインツアーに出演

外国人住民に対する支援

本市では、外国人住民の皆さんが暮らしやすい地域をつくることを目的に、2022年5月に「しまんとにほんごサロン」を開設し、目的やレベルに合わせた日本語の学習や、日本の文化の紹介などを行っています。CIRも、外国人住民の生活支援活動の一つとして、サロンに参加しています。

サロンは基本的に日本語で行いますが、まだ日本語があまり話せない方のサポートを行うなど、主に会話についての支援を行っています。知り合いの外国人住民の方にも積極的に声をかけてくれ、サロンには市内外から多くの外国人住民の方が日本語の勉強に来てくれています。



しまんとにほんごサロン

おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響で、この1～2年ほどは、中止となったイベントや行事なども多く、CIRを派遣予定であった業務も中止や延期になることもありました。コロナ禍でどのように活動を行っていくかなど、課題もありますが、これからもCIRと協力しながら、市民の異文化理解に向けた活動など、さまざまな国際交流活動に取り組んでいきたいと考えています。